

コアバック射出発泡成形により 内装表皮材のモノマテリアル化を実現

水添スチレン系熱可塑性エラストマー **S.O.E.[®]**

開発中(24年度上市予定)

ドアトリム

インパネ

コンソールボックス

Care for People, Care for Earth

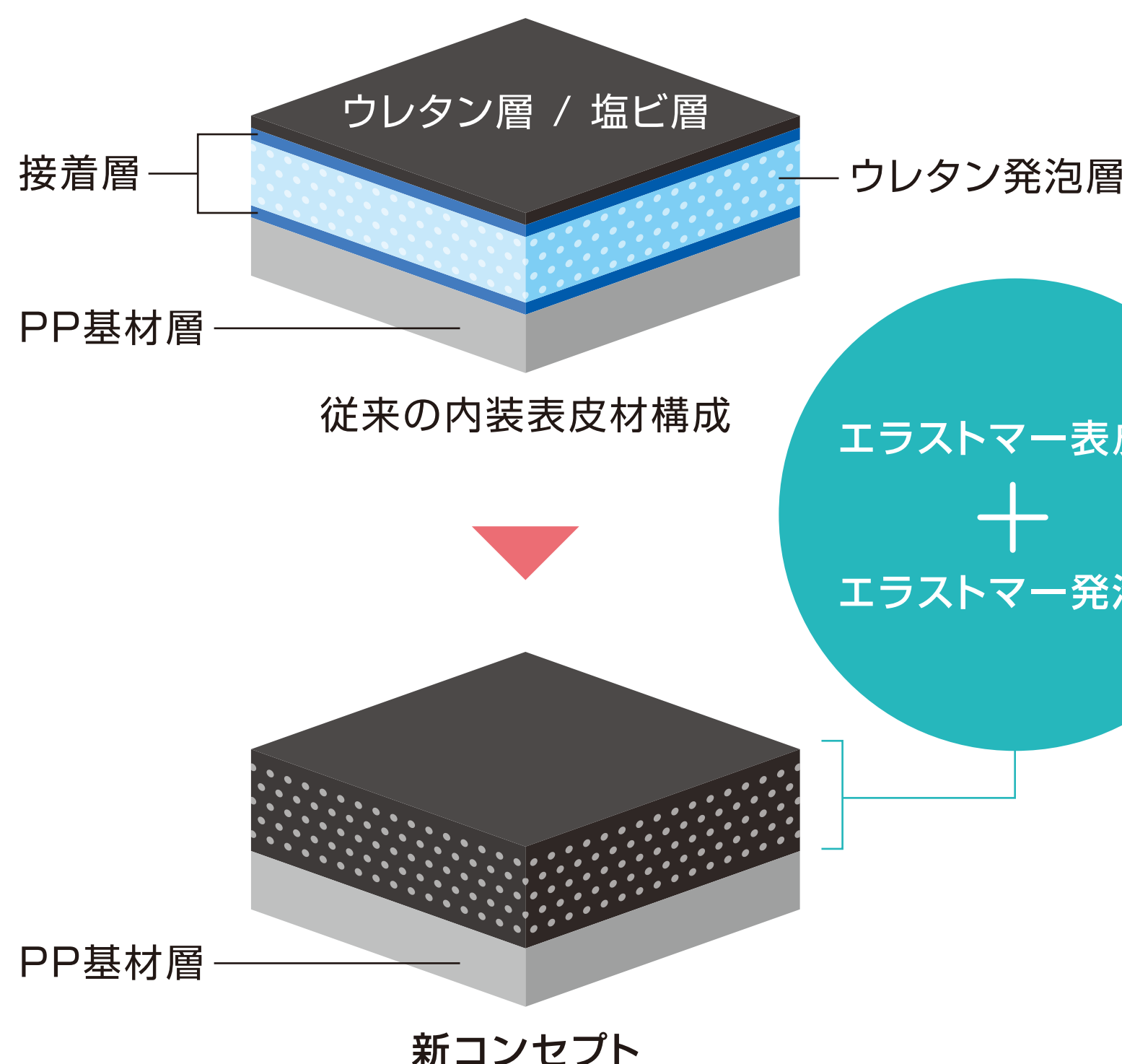
#塗装レス #ウレタン/塩ビ代替 #工程削減
#VOC削減 #リサイクル性向上



Features 01

ウレタン発泡工程の削減、 VOC削減を実現

ソフトタイプの内装表皮材は基材層と表皮層の間にウレタン発泡層を挟む3層構造が主流です。S.O.E.[®]配合のTPSコンパウンドのみで発泡層と表皮層を同時に成形することで、ウレタン発泡工程を削減します。また、TPS発泡表皮はPP基材との密着性に優れ、接着剤が不要になるため、VOC削減に貢献します。



Features 02

モノマテリアル化により、 リサイクル性を向上

従来の内装表皮材は、ウレタン発泡層とエラストマー表皮層&PP基材層が非相容であるため、リサイクル時に各層の分別が必要でした。ウレタン発泡層をTPSコンパウンドとすることで、発泡層とPP基材層が相容するため分別が不要となり、リサイクル性向上に貢献します。

in the Future

内装表皮材をモノマテリアル化することにより、リサイクル性を飛躍的に向上させます。廃材の回収から再利用に至るまでのリサイクルスキーム構築に貢献し、自動車業界全体のサステナビリティ実現を目指します。

Scan the code



AsahiKASEI